

家事育児を分担すれば 夫婦は幸せ??

夫婦のコミュニケーションが
家事育児分担割合満足度及び
夫婦関係満足度へ与える影響に関する調査

FJパートナーシップ・プロジェクト

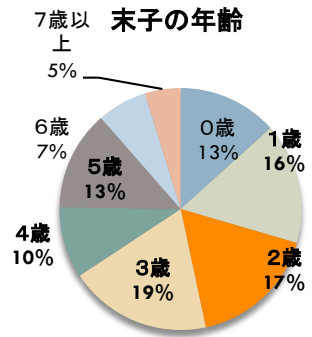
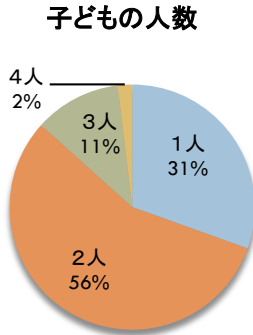
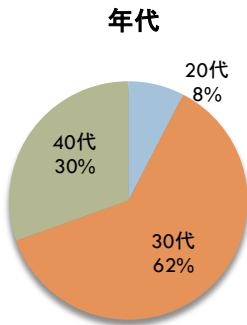
調査概要

- アンケート名:「夫婦のコミュニケーションに関するアンケート」(夫調査・妻調査)
- アンケート期間:2014.9.24~10. 30
- 実施方法:WEBアンケート(NPO法人ファザーリング・ジャパン及び関連団体MLにて呼びかけ)
- 対象者:末子が9歳以下(小学校低学年)の父親と母親
- 有効回答数:夫105、妻137 (回答総数:夫109、妻139、うちペアデータ10)
- 分析方法:SPSSによる相関分析及び重回帰分析

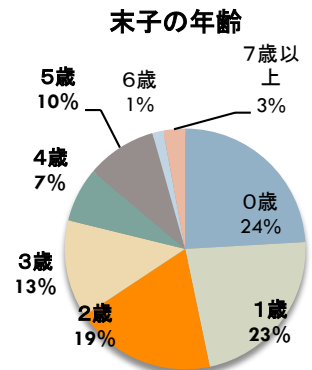
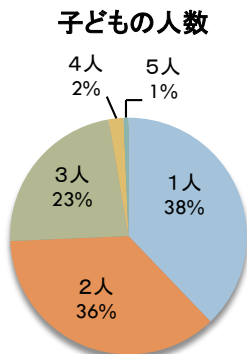
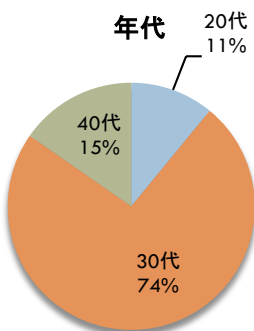
回答者の属性	夫回答者				妻回答者			
	平均	標準偏差	最小値	最大値	平均	標準偏差	最小値	最大値
年齢(歳)	37.29	5.761	25	45	35.44	5.126	25	45
学歴	6.08	.648	3	7	5.38	1.158	2	7
年収	9.53	2.583	1	15	4.44	3.051	1	11
子どもの数	1.85	.690	1	4	1.82	.839	1	5
末子の年齢	2.89	2.077	0	9	2.06	1.858	0	7

※年齢は年代を聞いたため平均値を割当てて計算。 N=夫105, 妻137
 ※学歴:1 その他、2 中学卒、3 高校卒、4 短大・専門学校卒、5 専修大卒、6 大学卒、7 大学院以上
 ※年収:1 収入なし、2 ~50万円、3 ~103万円、4 ~130万円、5 ~200万円、6 ~300万円、7 ~400万円、8 ~500万円、9 ~600万円、10 ~700万円、11 ~800万円、12 ~900万円、13 ~1000万円、14 ~1500万円、15 1501万円以上

夫回答者 N=105

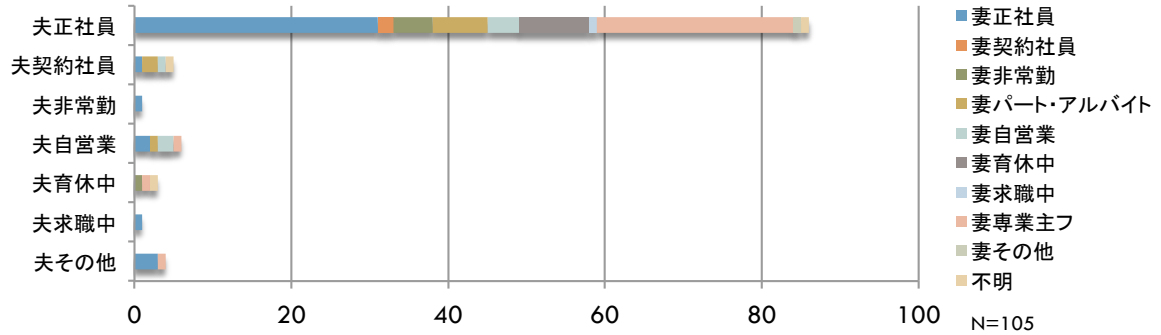


妻回答者 N=137



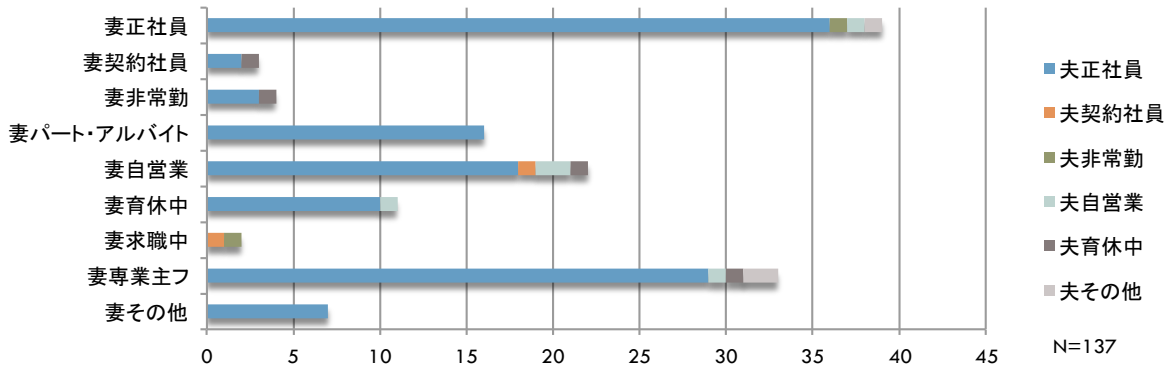
回答者の就労状況

夫回答者



		妻就労状況										合計
		分からない	その他	専業主婦	求職中	育休中	自営業	アルバイト パート・	非常勤	契約社員・派 遣社員	正社員	
夫本人就労状況	その他	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3	4
	求職中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	育休中	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	3
	自営業	0	0	1	0	0	2	1	0	0	2	6
	非常勤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	契約社員・派遣社員	0	0	0	0	0	1	2	0	0	1	4
	正社員	1	1	25	1	9	4	7	5	2	31	86
合計	2	1	28	1	9	7	10	6	2	39	105	

妻回答者



		夫就労状況							合計
		その他	育休中	自営業	アルバイト パート・	非常勤	契約社員・派 遣社員	正社員	
妻本人就労状況	その他	0	0	0	0	0	0	7	7
	専業主婦	2	1	1	1	0	0	29	34
	求職中	0	0	0	0	1	1	0	2
	育休中	0	0	1	0	0	0	10	11
	自営業	0	1	2	0	0	1	18	22
	アルバイトパート・	0	0	0	0	0	0	16	16
	非常勤	0	1	0	0	0	0	3	4
	契約社員・派遣社員	0	1	0	0	0	0	2	3
正社員	1	0	1	0	0	0	36	38	
合計	3	4	5	1	1	2	121	137	

イマドキ夫婦の家事育児分担の現状

夫が担当している家事・育児は30%程度。夫の家計負担は約70%。

回答者自身の育児・家事・家計の負担割合

	夫回答者	妻回答者
育児負担割合	31.11%	73.13%
家事負担割合	31.16%	76.88%
家計負担割合	74.2%	22.36%

N=夫105, 妻137

夫の家事参画は週1-2回が大多数。

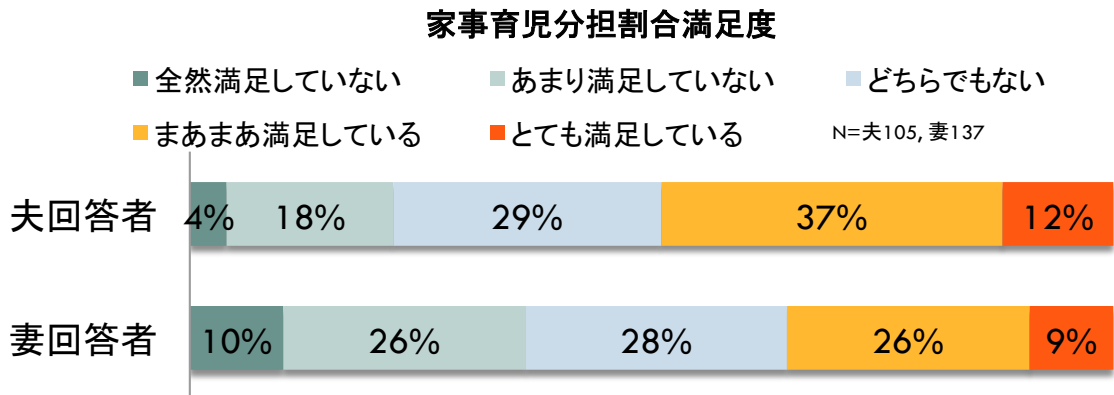
夫が担当している家事の内容と担当頻度

	毎日	週5-6日	週3-4日	週1-2日	全くやらない
洗濯(洗う)	20.0%	5.7%	15.2%	30.5%	28.6%
洗濯(干す)	19.0%	6.7%	16.2%	38.1%	20.0%
洗濯(取り入れる)	12.4%	9.5%	12.4%	51.4%	14.3%
洗濯(畳む)	11.4%	8.5%	17.1%	44.7%	18.1%
朝食を作る	23.8%	4.7%	7.6%	31.4%	32.3%
昼食(弁当)を作る	2.8%	2.8%	6.6%	31.4%	56.1%
夕食を作る	6.6%	2.8%	12.3%	40.0%	38.1%
朝食後片付け	31.4%	13.3%	14.2%	26.6%	14.2%
夕食後片付け	27.6%	18.1%	18.1%	28.5%	7.6%
部屋の掃除	1.9%	3.8%	17.1%	60.0%	17.1%
トイレ掃除	1.9%	2.8%	5.7%	46.6%	42.8%
風呂掃除	15.2%	4.7%	20.9%	44.7%	14.2%

※N=105 夫回答者データのみ

夫婦のコミュニケーションと家事育児分担割合満足度

分担割合に満足している: 夫 49%、妻 35%



**妻自身の分担割合が高いほど、妻の分担割合満足度が低い！
また妻自身の年収が高いほど、妻の分担割合満足度が低い！**

妻の分担割合満足度に影響するのは...

- 1位 妻自身の家事負担割合(負担割合が高いほど、分担割合満足度が低い)
- 2位 コミュニケーション願望度(願望度が高いほど、分担割合満足度が高い)
- 3位 妻自身の年収(年収が高いほど、分担満足度が低い)

夫の分担割合満足度に影響するのは...

- 1位 コミュニケーション願望度(願望度が高いほど、分担満足度が高い)
- 2位 家事育児に対する妻からの文句(文句が多いほど、分担満足度が高い)

※コミュニケーション願望度とは？

「もっと話がしたい」「もっと話を聴いて欲しい」等、「配偶者ともっとコミュニケーションを取りたい」と感じる度合い。

妻の分担割合満足度と相関関係がみられた項目：

「コミュニケーション充実度」、「平日の会話時間」、「分担の話し合い」、
「日々の家事育児に対する称賛感謝」。

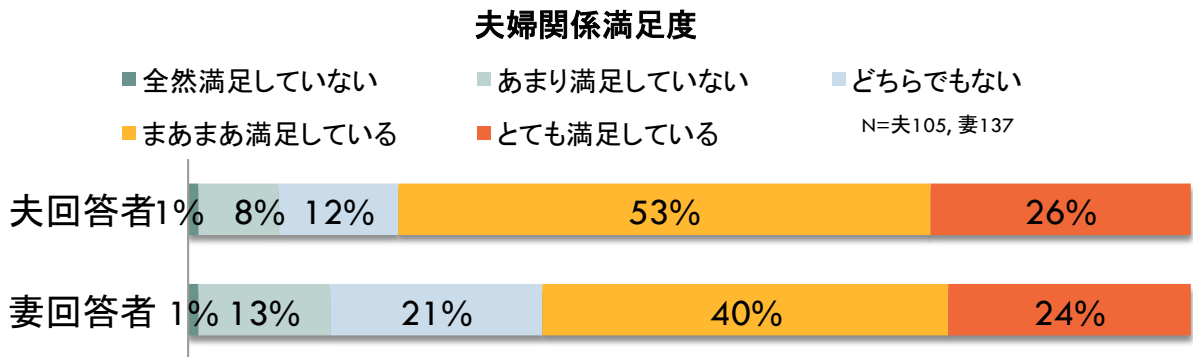
平日の会話時間や内容等、「普段からのコミュニケーション」を心がけると、妻の家事育児分担割合満足度がアップすると考えられる。

その他：

- ・ 夫の分担割合満足度と相関関係がみられた項目はなし。
- ・ コミュニケーション願望度が家事育児分担満足度に影響することから、よりコミュニケーションを望む夫婦はその時間を確保するために家事育児の負担を厭わないと推測される。
- ・ 妻からの文句が多いほど、夫の分担満足度がアップすることから、マイナスのアピールであってもコミュニケーションがあると、分担満足度はアップすると推測される。

夫婦のコミュニケーションと夫婦関係満足度

夫の約8割、妻の約6割が夫婦関係に満足している。



※夫婦関係満足度とは？

「夫婦関係に満足している」かどうかに加えて、「気遣ってもらっている」「感謝してもらっている」「尊敬されていると感じている」「二人の時間は楽しい」「関係が心の支えになっている」「改善したいと感じているかどうか」等、夫婦関係に対する総合的な満足度。

カギはコミュニケーションの充実と称賛&感謝。
家事育児は、分担量ではなく、分担割合に満足しているかどうかポイント。

夫婦関係満足度に有意に影響しているのは、夫婦共に

- 1位 コミュニケーション充実度
- 2位 称賛&感謝度
- 3位 本人の家事育児分担満足度

※コミュニケーション充実度とは？

日々のスケジュール調整以外に、お互いのキャリアプラン、悩み、自分がテレビや新聞で得た情報等、多様なテーマについてお互いに話をし、そのような会話を楽しいと感じている度合い。

さらに、

「妻自身の家計分担割合」が夫婦関係満足度に影響。

妻自身の家計分担割合が高いほど、夫婦関係満足度が低い。
一方、夫自身の家計分担割合は夫の夫婦関係満足度に影響しない。

夫は、自身の家事分担割合及び育児分担割合が低いと、夫婦関係満足度が高い傾向がみられた。一方、妻は、家事分担割合の影響は見られず、育児分担割合が高いと夫婦関係満足度が低いという傾向がある。

夫婦共に、平日・休日の会話時間が多いと夫婦関係満足度が高い傾向。
特に、妻は休日、夫は平日の会話時間を大切にしたい傾向。

妻は、末子の年齢が低いと夫婦関係満足度が低いという傾向が見られた。
一方、末子の年齢の夫の夫婦関係満足度への影響は見られなかった。

イマドキ夫婦のコミュニケーションの現状

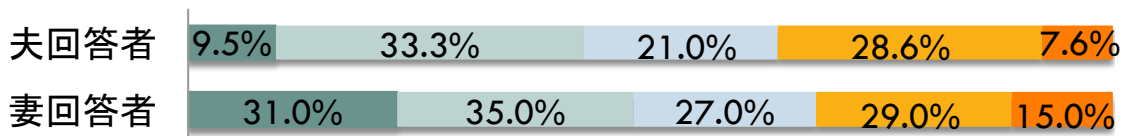
夫婦の会話時間：平日1時間、休日2時間程度。「少ない」と感じている傾向。

	夫回答者	妻回答者
平日夫婦の会話時間	1時間4分	1時間1分
休日夫婦の会話時間	1時間49分	2時間13分

N=夫105, 妻137

夫婦の会話時間が全体的に少ないと感じている

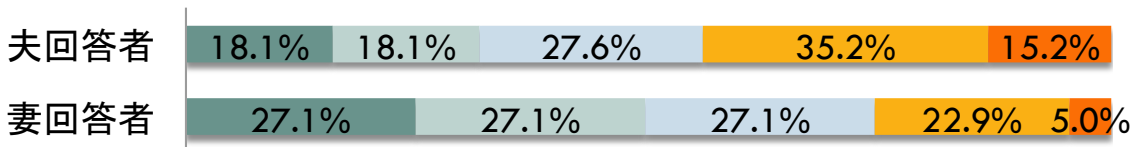
■よくあてはまる ■あてはまる ■どちらでもない ■あまりあてはまらない ■全くあてはまらない



N=夫105, 妻137

パートナーにもっと話を聴いて欲しい

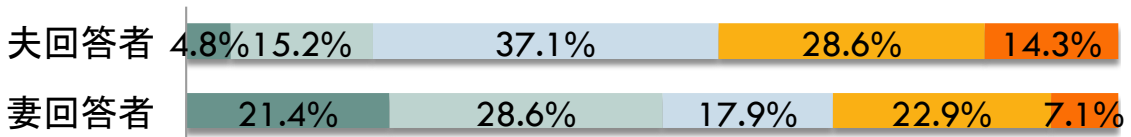
■よくあてはまる ■あてはまる ■どちらでもない ■あてはまらない ■全くあてはまらない



N=夫105, 妻137

パートナーにもっと話をして欲しい

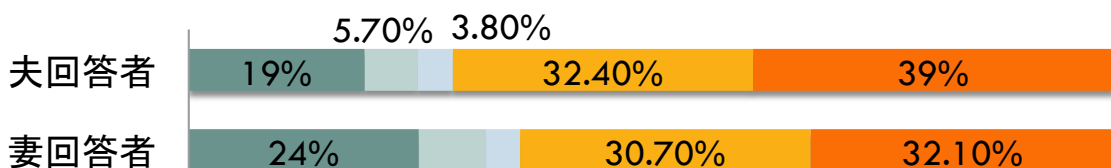
■よくあてはまる ■あてはまる ■どちらでもない ■あてはまらない ■全くあてはまらない



N=夫105, 妻137

LINEやSMS(ショートメッセージサービス)をよく利用する

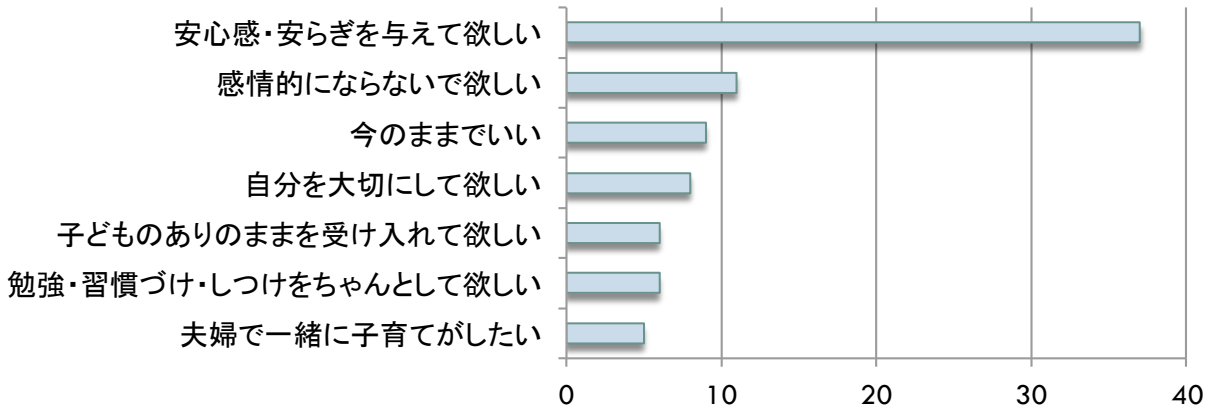
■全く利用しない ■あまり利用しない ■どちらでもない ■利用する ■よく利用する



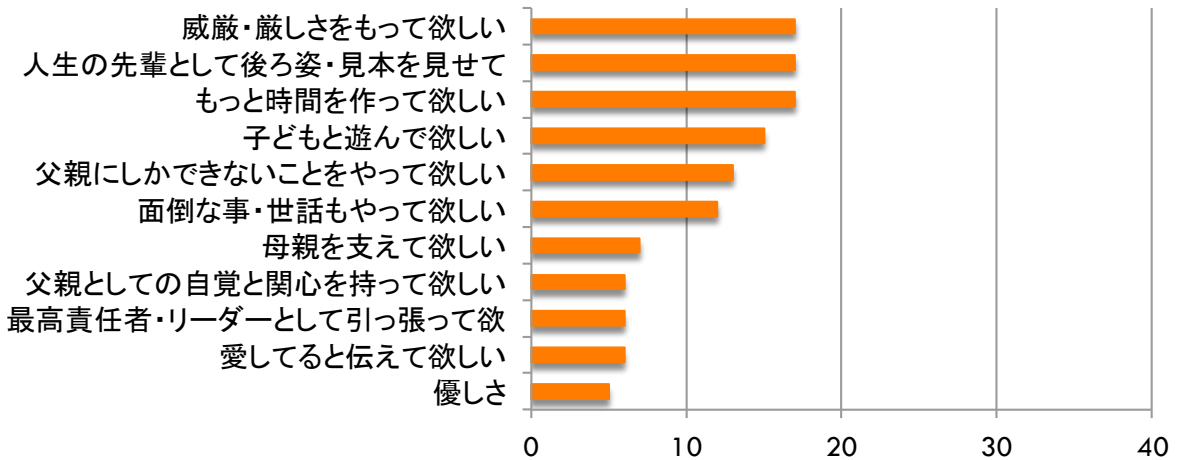
N=夫105, 妻137

パートナーに「親」として期待することは？

夫が妻に「母親」として期待すること



妻が夫に「父親」として期待すること



※5人以上の回答があった項目を掲載。

夫から妻：「子どもに安心感を与えて欲しい」「安心感を与えて欲しい」「心の拠り所」「母港のような安心感」「安らぎを与えて欲しい」等、「安心感」「安らぎ」を与えて欲しいという声が圧倒的。「自分を大切にしたい」「子どもとあまり向き合いすぎないように」という労りの声もあった。

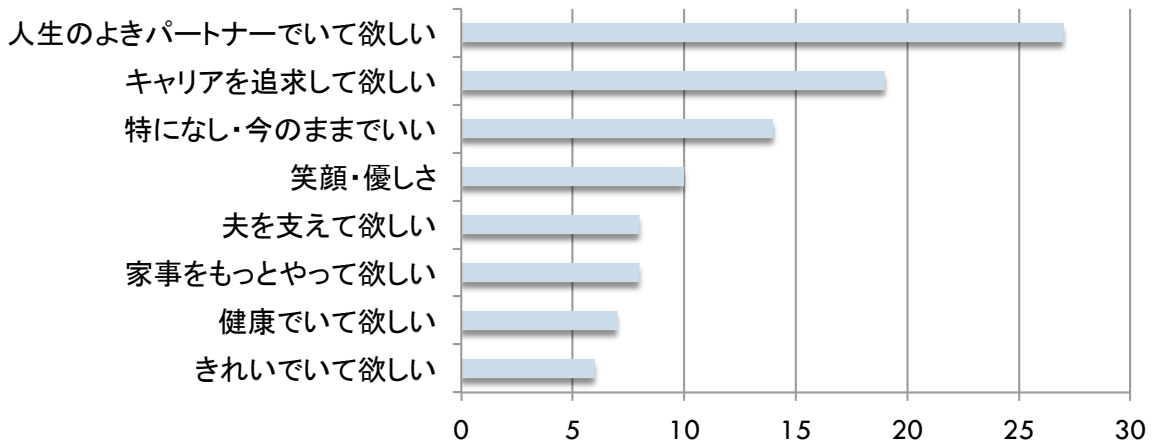
妻から夫：「威厳・厳しさ」については、「普段は優しくてもいいけれど、いざという時には厳しくして欲しい。」「怒る時には怒る」等メリハリを求める声が多かった。「人生の先輩としての後ろ姿」とについては、「自分のキャリアをつきすすみ、その後ろ姿を子どもに見せて欲しい」「単なる仲良し親子ではなく、人生の先輩としての手本となるような言動を心がけて欲しい」等の声が多かった。

また、「もっと時間を作って欲しい」「子どもと遊んで欲しい」「面倒なことや世話もやって欲しい」という育児・家事参画へ対する要望も多かった。

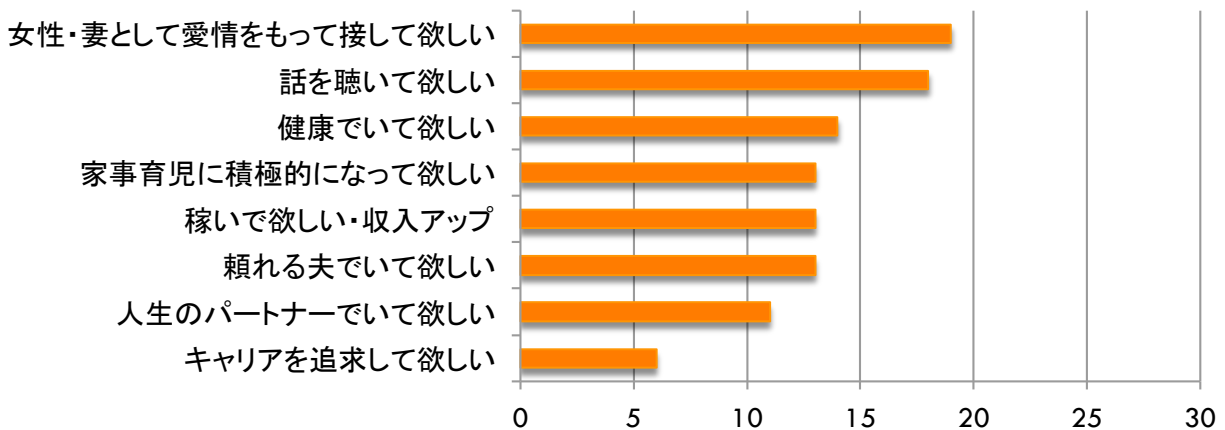
「今のままでいい」という回答は夫から妻へは見られたが、妻から夫へはごく僅かだった。

パートナーに「夫」「妻」として期待することは？

夫が妻に「妻」として期待すること



妻が夫に「夫」として期待すること



※5人以上の回答があった項目を掲載。

夫から妻：「人生のパートナーとして、互いに支えあい高めあうこと」「共に人生を歩んでいけるパートナー」等の声、また、「育児・家事にばかりとられず、自身のキャリアに必要なスキルを身につけて欲しい」「仕事に向かう姿勢を崩さないで欲しい」等、妻のキャリアに対するコメントも多かった。その一方で、「妻として支えて欲しい」「朗らかに過ごして欲しい」「イライラしないで笑顔でいて欲しい」等、妻の笑顔や優しさを求める声もあった。

妻から夫：一番多かったのが「妻として見て欲しい」「女性として愛情をもって接して欲しい」という声。次いで「話を聴いて欲しい」という声が多く、妻の「一人の女性として」の要望が見られた。

夫婦がお互いへの満足度を高めるためには...

1. 家事育児の負担だけでなく、日々のコミュニケーションが大切。
2. パートナーが家事育児の負担量に納得しているかどうかを確認した上で分担割合を決めることが大切。
3. 夫婦がお互いに相手が何を期待しているかを知ることが必要。

妻の家事育児分担割合満足度には、**妻本人の負担割合**が大きく影響。

夫婦関係満足度に影響しているのは、**コミュニケーションが充実していると感じているかどうか**。

また、家事育児分担割合そのものではなく、**本人がそれに満足しているかどうか**が夫婦関係満足度に影響している。

妻の夫婦関係満足度に対して妻本人の家計分担割合の影響が見られ、また、妻家事育児分担満足度に対して妻本人の年収の影響が見られることから、**妻自身がどのくらい家計に貢献しているかが妻の意識に影響している**ことが考えられる。

「パートナーにもっと話を聴いて欲しい」と感じている妻が多い一方で、「パートナーにもっと話をして欲しい」と感じている夫が少ない。ここに夫婦間の差が見られる。

約7割の夫婦がコミュニケーションにLINEやSMSを利用しており、忙しいイマドキの夫婦のコミュニケーションのツールの一つとなっている。

夫は妻に母親として「安らぎ」「安心感」を求め、妻は夫に父親としての「威厳」や「厳しさ」「人生の先輩としての後ろ姿」を求める傾向。

また、夫は妻に「人生のよきパートナー」としての役割を求めると同時に、妻自身のキャリアを追求して欲しいと期待。一方、妻は夫に「妻(一人の女性)として愛情を持って接する」ことを期待している。

この調査に関するお問い合わせ先:

FJパートナーシップ・プロジェクト fjpartnership@gmail.com